

こんにちは 議会です!!



一般公開にむけて



改修された名勝 胡宮神社社務所

- 補正予算を審議 2
- 6月定例議会 4
- 総務常任委員会 6
- 産業建設常任委員会 7
- 町政を問う(10人が一般質問) 8
- まち・ひと・しごと!! 14

自治会活動・新規開業商店支援を予算化 補正予算2631万円を審議・可決しました



自治会館建設補助
(神田自治会)
900万円



がんばる商店応援
(新規開業1件)
300万円



多賀産米のブランド化へ
95万円



非正規職員の待遇改善
702万円



**名勝 胡宮神社社務所
公開へ**
58万円



林業の情報公開へ
(パソコン1台購入)
24万円

予算特別委員会

6/13

予算項目	(万円)
自治会館建設への補助	900
まちづくり活動支援交付金	35
がんばる商店応援補助金	300
多賀町産米ブランド化	95
林業台帳システム備品購入	24
非正規職員制度業務委託	702
非常備消防費	73
太陽光発電システム設置補助	100
特産物生産(ニンジン)機械購入補助	10
木質バイオマスストーブ設置補助	10
保育所費(給食関係)	81
保育園屋上ヨシ緑化パネル設置	17
文化財保護費(胡宮神社)	58

問 自治会館建設への補助は

答 神田自治会が発足され、自治会館を建設される。建設費の12分の7を補助する。自治会活動に必要な備品の購入には、交付金を活用していただく。戸数も増加しており、今後も活動を支えていく。

問 多賀産米のブランド化への取り組みは

答 町の農業再生に向けて、山形県の遠藤吾一氏が特産物振興連協へ指導する。(3回)。遠藤氏は肥料を使わずにコンクールで4年連続金賞受賞のブランド米を作っておられる。

問 がんばる商店応援補助金の交付条件は

答 これまでに17店舗が補助を活用し新規開業。29年度から商工会への加入を条件としている。事業計画についても商工会の専門家による審査を受けることを条件としている。

問 がんばる商店補助金活用店舗のPRは

答 どこにどんな店があるかわかるようにする必要はある。観光協会や商工会と協議してマップを作製したい。



店舗の案内マップを
開業した店舗

問 林業システムは

答 国は林地の集約化を進めている。所有者確認作業を市町村が行う。正確な境界や、所有者情報がわかる林地台帳を整備し、住民に公開する。



境界の明確化を

問 消防団員は補充されているのか

答 定員60人に対し、現在56人である。第一分団は多賀・敏満寺・久徳の3班。第二分団は、川相・佐目の2班で構成されている。第二分団は山間地で若者が減少しており、定員が補充できていない。

問 非正規職員の待遇は改善されるのか

答 非正規職員には、嘱託職員・臨時職員・パート職員の区分がある。町で140人を雇用している。これまで手当や福利厚生について明確な規定がなかった。国の法令にあわせて、手当や退職金についても見直す。

問 幼児の給食調理の体制は

答 保育園では、園児の増加により、240食の給食と、乳児食、アレルギー対応食、手作りおやつ調理をするため、調理師1人の増員が必要である。



問 保育園舎へのヨシ緑化パネル設置は

答 24年度に引き続き、40㎡にヨシ緑化パネル360枚設置する。エコ活動団体に対し、企業の助成金とあわせて町でも補助をする。



ヨシ緑化パネル
多賀ささゆり保育園 屋上

問 胡宮神社社務所の一般公開は

答 11月の一般公開を予定している。それまでに、運営方法について、管理人の選定など地元神社関係者、史跡保存会と調整する。社務所と庭園の管理運営は町が進める。

6月定例議会

6/22

災害に強いまちづくりへ 台風被害の復旧予算が確定

30年度補正予算を
審議・可決しました

◎一般会計

- 集落活動推進費他 1637万円
- 児童福祉費 101万円
- 環境衛生費 100万円
- 農業費 105万円
- 林業費 134万円
- 商工費 300万円

自治会活動に支援



神田公民館予定地

- 消防費 73万円
- 社会教育費 181万円

29年度補正予算を
承認しました

◎一般会計

- 総額 53億9537万円
- 減額 545万円

29年度予算の一部の
繰越しを承認

◎一般会計

- 徴税費 3億6358万円
- 道路橋梁費 755万円
- 都市計画費 2397万円
- 社会教育費 2826万円
- 社会教育費 2億5800万円

- 農林水産業施設災害復旧費 532万円
- 公共土木施設災害復旧事業費 2件 4048万円

◎下水道事業特別会計

- 総務管理費 3830万円

◎水道事業

- 建設改良費 130万円

災害復旧に向けて



四手地先

条例の
制定を可決しました

- ◎ 公共施設等維持管理基金条例

条例の
改正を可決しました

- ◎ 国税条例
- ◎ 国民健康保険税条例
- ◎ 特別職の職員で常勤の者の給与および旅費に関する条例
- ◎ 職員の自己啓発等休業に関する条例
- ◎ 放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例
- ◎ 介護保険条例

霊仙財産区管理委員会
の選任を同意しました

- 藤井 金一郎 氏 (落合)
- 宮下 重和 氏 (入谷)
- 大久保 孝蔵 氏 (入谷)
- 垣立 繁幸 氏 (入谷)
- 鈴居 正幸 氏 (落合)

多賀財産区管理委員会
の選任を同意しました

- 前川 貢 氏 (多賀)
- 夏原 讓治 氏 (久徳)

人権擁護委員に
適任としました

- 西河 仲市 氏 (佐目)

- 矢守 敏子 氏 (敏満寺)

補正予算に伴う現地調査 6/18

入谷地区 880万円

高宮池 197万円

昨年10月22日の台風21号により被災した入谷地区の現地調査を行った。町道入谷線の斜面が幅27m高さ約10mにわたり大きく崩れていた。上部にある了眼寺の基礎の一部が露出し、その横の庫裡の基礎も大きく露出し倒壊の危険性がある。入谷には18軒ある。早期復旧が望まれる。

高宮池は28年2月に彦根市の高宮財産区から譲渡され、多賀町の管理となった。長年の使用と腐食により配水口を開閉する鉄製シャフトが破損し、配水口の開閉ができなくなった。下流の尼子地区には約1.1haの水田がある。排水作業の後、早期修理を行う。

町長の行政報告 6/

29年度決算の見込み

一般会計の歳入見込額は、約53億4600万円、歳出見込額は、約51億5200万円となる。歳入歳出差引額は、1億9400万円となり、うち30年度に繰り越すべき一般財源約1400万円を除くと、実質収支額は、約1億8000万円となる。

企画課所管

- 新中央公民館建設事業 起工式から3カ月がたち、基礎工事・電気等設備の埋設配管を終え、建屋工事を始めている。
- (仮称)多賀スマートインターチェンジ整備計画 地元の理解と協力が得られ、整備に向けて進めることになり、実施計画書の策定を進めている。今年度の事業採択に向け取り組んでいる。

福祉保健課所管

- 高齢者福祉計画および介護保険事業計画 概要版を4月に全戸配布。地域包括ケアシステムをさらに充実させ、「地域の力」を高めていく施策を進めていく。
- 特定健診とがん検診 5月24日より実施。受診率の向上に努める。

地域整備課所管

- 災害復旧事業 昨年度末で11カ所の復旧を完了。残り5カ所の早期復旧に取り組む。

産業環境課所管

- 環境関係 4月7日より3回の粗大ごみ収集を実施。再生可能エネルギー導入事業を推進する。
- 農業関係 農産物のブランド化に取り組む。生産者の意欲に応える営農指導に努める。
- 林業関係 地方創生推進交付金を活用し、林業技能者の育成、境界明確化、木工業の振興などに取り組む。

教育委員会所管

- 外国語指導 英語専任教諭1人を多賀小・大滝小に配置。1年生から6年生までの外国語指導を行っていく。
- 大滝たきのみやこども園 4月10日開園式と入園式を挙げる。園児33人の新生活がスタート。



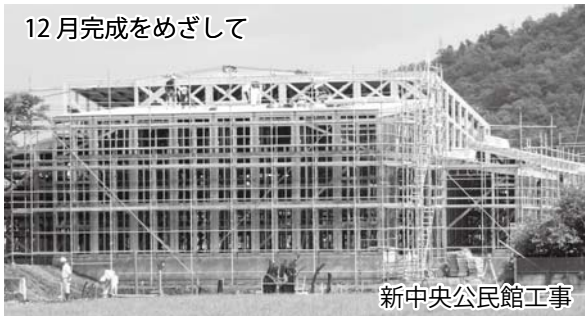
災害復旧に向けて

入谷地先



早期の修理を

高宮池



12月完成をめざして

新中央公民館工事

● 新中央公民館建設事業 起工式から3カ月がたち、基礎工事・電気等設備の埋設配管を終え、建屋工事を始めている。

● (仮称)多賀スマートインターチェンジ整備計画 地元の理解と協力が得られ、整備に向けて進めることになり、実施計画書の策定を進めている。今年度の事業採択に向け取り組んでいる。



新生活スタート

大滝たきのみやこども園

教育施設を視察 未来にはばたく力を



主体的に学ぶ

多賀中学校

教育施設を視察し、今年度の事業を調査しました

一 幼児教育

◎多賀ささゆり保育園

- 園児数 174人
- 入園児の低年齢化
- 長時間保育の増加
- 相談など保護者支援
- 保育の質向上を目指す

一 小学校

◎多賀小学校

- 児童数 336人
- 楽しさ・活気・優しさあふれる学校を
- 夢先生事業
- ICTを活用した大滝小学校との合同授業
- あいさつ運動の推進

◎大滝たきのみやこども園

- 園児数 33人
- 短時部 6人
- 長時部 27人
- 少人数保育による長所を活かす
- 10月から園庭整備工事

◎おおたき子育て支援センター

- 4月11日から開設
- 子育ての悩みを解消
- 多賀幼稚園
- 園児数 54人
- 友達と共に考え、試し作り出す保育を目指す

一 中学校

◎生徒数 200人

- 合言葉 「自信と希望を」
- 主体的に取り組む授業
- 道徳教育の推進
- 将来を見据えたキャリア教育

多賀ささゆり保育園の駐車場用地は

農業委員会に農地の除外申請を行っている。除外できれば補正予算を計上する予定。

多賀ささゆり保育園の保育士確保は

28年度に臨時保育士に替って7人の正規職員を、29年度は3人採用した。

大滝たきのみやこども園の園庭工事は

「森のこども園」としての整備に向け、研修を積んでいる。高取山へ出向いての保育も検討している。

多賀幼稚園の老朽度調査を踏まえた今後の計画は

老朽度調査の結果は「A」であり、31年度に場所も含め、基本計画策定をスタートさせる。（老朽度「A」は「特A」に次ぎ、老朽度が進んでいる状況。）

新潟での事件を踏まえ特に下校時の安全を再度チェックすべき

事件を受け、再度安全指導を行った。教師も自転車等で下校時は引率しているが、最後まで引率できないのが課題。

不審者情報の伝達は

不審者情報が寄せられると、すぐに学校へ連絡し、保護者が登録している携帯メールに各学校から、速やかに配信している。

通学路の防犯カメラ設置は

通学路への設置は、総務課の所管であるが設置が必要な箇所は、教育委員会から示している。

学校の大規模改修が31年度から計画されている。トイレも改修すべきでは

トイレ改修も大規模改修時に計画している。6月議会に「多賀町公共施設等維持管理基金条例」を議案として提出する。

復旧工事を急げ 安全・安心のまちを

産業建設常任委員会

今年度の土木事業を調査しました。（町事業、県事業、上下水道事業）
現地を視察し、質疑応答をしました。

一 町事業

地すべりの災害復旧工事の予定は

原因を調査し、水抜きのための処置をして土を埋め戻す予定である。

新中央公民館前の道路整備は

水道の老朽管工事後、拡幅工事に入る。ガード歩道を設置し、ガード



災害復旧視察

町道小森池線

町事業		
事業名	地先	内容
災害復旧	梨ノ木	小森池線(復旧工事)
	入谷	入谷線(復旧工事)
	敏満寺	原田川(復旧工事)
	四手	富之尾四手線(測量設計)
道路改良	多賀	柏葉団地通(学路安全対策)
	敏満寺	粟田高宮線(道路拡幅)
	藤瀬	高取線(道路拡幅)
都市計画	久徳	久徳八重練線(道路拡幅)
里道舗装	多賀	霜ヶ原、八重練
地域活性化	霜ヶ原	緑のふるさと協力隊
	大杉	地域おこし協力隊

県事業		
事業名	地先	内容
道路関係	佐目	国道306号(用地買収)
	霜ヶ原	多賀永源寺線(カーブ改良)
	多賀	中学校前歩道(調査・測量)
	多賀	四手川橋修繕(設計)
	栗栖	飛ノ木橋修繕(設計)
河川関係	大君ヶ畑	国道306号(法面工事)
	久徳	芹川(浚渫工事)
	猿木	犬上川(伐採工事)
砂防関係	菅原	犬上川(護岸工事)
	佐目	細谷(管理道路設置)
急傾斜対策	霜ヶ原	霜ヶ原谷(砂防堰堤工事)
	大君ヶ畑	(設計)
芹谷地域振興	川相	(設計)
	栗栖	多賀醒ヶ井線(地元調整)
	水谷・後谷	〃 (道路拡幅)
	宮前・山女原	〃 (道路拡幅)
	下村・中村	〃 (用地買収)

上下水道事業		
事業名	地先	内容
老朽管更新	多賀	絵馬通り(350m)
	久徳	久徳八重練線(250m)
水道施設	土田	井戸掘削(80m)
公共下水道	町内	会計システム計画策定
農業集落排水	菅原	合理的機能保全計画策定



賑わいのある絵馬通りへ

駅前工事力所



早期復旧を

国道306号

一 県事業

国道306号、県境の通行の用途は。

県は、31年5月の仮復旧を目指している。

一 上下水道事業

老朽管布設替え工事に国の補助は

40年以上の老朽管に国の補助がある。現在、町内にはない。

土田の水源池は1日に1700トンの水量が得られる。敏満寺の浄水場へ送る。3年後の使用開始を予定している。



質問1

保育・教育現場の感染症対策は —学校教育課長— 日頃より健康管理と早期発見に努める

まつ い わたる
松居 亘

問 ①園児、児童、生徒の健康管理と早期発見は
②保育士、教職員の健康管理と早期発見は
③保育士、教職員の感染症研修等は
④感染症予防のための環境整備は
⑤独自の感染症対策マニュアルは

答 ①毎朝、健康観察を行い、一人一人の健康状態を把握し、日頃から病気の早期発見に努めている。
②学校保健安全法で義務付けられており、健康診断により早期発見に努めている。
③養護教員が県や保健所の研修や情報をもとに、職員に伝えている。
④加湿器、空気清浄機の稼働をしたり、必要箇所の消毒を行っている。
⑤滋賀県教育委員会のマニュアルをもとに作成している。

質問2

多賀スマートインターチェンジの整備は

問 ①開通までの整備計画全体スケジュールは
②整備促進期成同盟会の設立時期と構成員は
③地区協議会の設立時期と構成員は
④整備費用の概算額と多賀町の負担額は
⑤地元説明会で出された要望・意見は

答 ①30年度後半から調査、設計を行い、35年3月供用開始予定。
②本年8月頃設立。彦根愛知、犬上の一市四町。
③本年7月に設立。国、県、県警、一市四町、観光協会等で構成。
④総事業費は約26億円で、町負担額は約4億円。
⑤事業進捗について、行政と地元で情報交換の場を設け、地元の理解と協力を努める。

質問1

公用車にドライブレコーダー設置を —総務課長— 設置のための研究は意義がある

おお はし とみ ぞう
大橋 富造



交通マナー向上に向けて

ドライブレコーダー

問 ドライブレコーダーを設置している自治体は多い。取り付けることは職員の交通マナーの向上、違反件数・人身事故の減少に役立つ。設置計画は

答 設置計画はありませんが、設置時期、設置機種、設置後の運用管理について、研究することは大変有意義である。

質問2

がんばる商店 応援補助金は

問 ①29年度までの新規開業補助交付軒数は
②補助金の交付額は
③商工会未加入軒数は

質問3

役場庁舎全体の 修繕計画は

問 庁舎の経年劣化が目立ってきた。修繕計画を策定しては

答 建設から40年が経った。公共施設管理計画に基づき、個別計画をたてて行っていく。

質問事項 ページ

まつ い わたる ■ 松居 亘	9
◎保育・教育現場の感染症対策は ◎多賀スマートインターチェンジ整備は	
おお はし とみ ぞう ■ 大橋富造	9
◎公用車にドライブレコーダー設置を ◎がんばる商店応援補助金は ◎役場庁舎全体の修繕計画は	
すかもりてる お ■ 菅森照雄	10
◎「ふれあいの郷」浴室の利活用は	
やまぐちひさ お ■ 山口久男	10
◎公共交通の再編に住民の意向を ◎小学校での英語の教科化は ◎学校給食の無償化を ◎フィットネス&カルチャーセンターの運営は	
おたにただし ■ 尾谷忠之	11
◎人口減少・少子高齢化の対策は	
きた がわきゆうじ ■ 北川久二	11
◎新中央公民館の周辺整備は ◎多賀ささゆり保育園前の歩道部の管理は	
きのしたしげ き ■ 木下茂樹	12
◎山間地の農・林業者への補助は ◎風・水害の予防対策は万全か	
たけうち かおる ■ 竹内 薫	12
◎新中央公民館「多賀 結いの森」の利用計画は ◎介護予防の取り組みは	
かわぎしまさ き ■ 川岸真喜	13
◎河川監視カメラの設置を ◎汚水処理施設の今後は	
かわぞえたけ し ■ 川添武史	13
◎本町の将来に向けた農業施策は ◎就学前教育の取り組みと課題は ◎生活困窮家庭の児童・生徒への支援は	

(※○印は、掲載しておりません。)

6月定例議会

10人が一般質問 町政を問う

一般質問って?

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもち、町長や教育長などの方針を問うものです。



質問1

人口減少・少子高齢化の対策は

—町長—

子育て・移住支援を進める

お 尾谷 忠之

問 ①2015年人口問題研究所の推計人口の受け止めは

答 ①推計では2045年の本町の人口は4625人と予測。前回は(2010年)より208人減少と推計されているが、年少人口は2・3ポイント上昇している。

本町が取り組んできた子育て教育熱心の町づくりに等に、一定の評価がされている。

②外部委員による事業評価を31年度から導入し、検証を行う。

問 ③山間地域での人口減少少子化に歯止めをかけるため、各課横断的に事業が推進できるように、プロジェクトチームを編成し、活性化に向け取り組んでいる。

答 ④本年5月現在で、町外からの転入世帯は104世帯、町内での移動世帯は34世帯。

⑤総合計画では出生数を50〜60人、社会増減をゼロとする目標。健康長寿の事業を積極的に進める。子育て教育、移住支援、若者定住支援など定住人口の増加を目指す。



定住人口の増加を

神田地区

質問1

「ふれあいの郷」浴室の利活用は

—町長—

プレイルームなどへの改修を検討

すが もり てる お 菅 森 照 雄



多賀町総合福祉センター「ふれあいの郷」



利活用に向けた改修を

「ふれあいの郷」風呂

問 施設の老朽化、利用者の減少により廃止から6年間過ぎた。風呂の活用について過去の質問に対して、「取り外せない柱や壁、不整形な箇所、会議室不足などの状況を踏まえ、ふれあいの郷運営協議会の意見を聞きながら検討する。」と答弁があった。

①現在の検討内容は

②改修されるのか

③改修されるのであればいつまでに

町長 ①浴室は2つのプレイルームに。3階トイレは増設し、洋式化。湯沸室は授乳室へと改修する計画になっている。

②③30年度は、実施設計を行い検討する。改修時期は、改修計画の見積額が明確になってから実施に向け検討していく。



質問1

新中央公民館の周辺整備は

—町長—

都市再生整備(計画)事業で実施

きた がわ きゅう じ 北川 久二

問 周辺整備の進捗状況について

①国道306号との交差点改良と多賀方面への歩道設置は

②町道(大岡方面)の拡幅は

③芹川に架かる大手橋の拡幅改良は

④芹川を活用した「やすらぎの創生」は

町長 ①交差点の改良は実施して行く。歩道設置は、県の道路整備計画で位置付けされており、早期着手を求めて行く。

②必要と認識しているが、重要度の高い事業を優先したい。

③今年度「長寿命化」の設計業務を行うが、拡幅については多方面からの検討を行う。

④芹川の活用は非常に有効と考える。県の予算関係でなかなか進まないが、親水性のある護岸整備を要望していく。



園児の安全確保を

多賀ささゆり保育園前

質問1

公共交通の再編に住民の意向を

—企画課長—

アンケート調査の実施を検討

やま ぐち ひさ お 山口 久 男

問 ①路線バス廃止による利用者への影響は

②公共交通再編の説明会は

③高校生・保護者への説明は

④朝の定期便の路線変更は

⑤無料の巡回バス運行の再考は

⑥免許返納者・高齢者の料金割引は

企画課長 ①中学生はスクールバス導入。高校生は青春フリー定期券と愛のりタクシー利用で料金負担は変わらない。河瀬方面は金屋橋で乗り換えが必要となる。乗合には割引を検討している。

②割引案がまとまっていないため実施が遅れている。案がまとまり次第集落へ説明したい。

③沿線集落説明会の開催後にアンケート調査の実施を検討。

質問2 多賀ささゆり保育園前の歩道部の管理は

問 歩道部から土地改良区の幹線水路までの間に草が繁茂し、歩道にまで出ている状況が何年も続いている。通行される人の安全、保育園の環境への配慮から、草が生い茂らない整備が必要。

質問3 学校給食の無償化を

教育次長 現在、保護者負担は賄い材料費のみとしている。その他、学用品支援も多くなっているため、無償化は考えていない。

質問4 小学校での英語の教科化は

問 ①実施に向けての対応は

②教員への負担は

学校教育課長 ①32年度からの本格実施に向け充実を図る。

②英語専科教諭・外国人英語指導助手で対応するため、負担はない。

④対象を高校生に限定し、毎年度見直す予定。

⑤愛のりタクシーの活用により対応する。

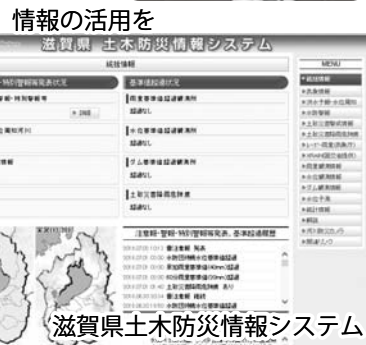
⑥費用負担が大幅に増加するため、考えていない。



質問1

河川監視カメラの設置を —地域整備課長— カメラの設置を県へ要望していく

かわ ぎし まさ き
川岸 真喜



町政を問う

問 豪雨時の警戒体制について

答 ①職員による河川の監視体制は

②土砂災害には警戒区域（イエローゾーン）と特別警戒区域（レッドゾーン）がある。とくにレッドゾーンと言われる急傾斜周辺地域での警戒態勢は

地域整備課長

答 県ではインターネットでの防災情報システム（SISPAD）により気象、河川、土砂災害の情報も誰かが入手できる環境を整備している。町では水位センサーを、

問 水位センサーや監視カメラの設置は

答 監視カメラは未設置である。橋脚や護岸に赤白のペイントで水位が明示されており、目視による監視をする。監視体制の充実のためにも、県へ監視カメラの設置を要望していく。

質問1

本町の将来に向けた農業施策は —町長— アグリビジネス創業事業を目標に取り組む

かわ ぞえ たけ し
川添 武史

問 昨年度、新しい農業委員会制度になった。

本町の農業は、兼業農家に年々受給されているのが現状である。専業農家も新規就農者も少ない。

高齢者でも出来る農業施策と儲かる農業施策が必要と思うが今後の取り組みは

町長

答 「林農観による多賀町再生計画」をもとに担い手農家31人に聞き取り調査を行なった。

農の再生計画の中で、農産物のブランド化、人材育成、獣害対策など進めて行きたい。

現在進めている再生計画では「アグリビジネス創業事業」を目標に、農業者・観光商工関係者と連携し、6次産業化を目指されている農業者に丁寧な説明を持って前に進めたい。



園児増加への対応は 多賀ささゆり保育園

問 就学前教育の取り組みと課題は

答 多賀ささゆり保育園では、多賀区周辺の宅地開発の増加などで、0歳児を含め低年齢の入園者早朝・延長保育が多くなっている。

全国的に保育士が不足していると聞いている。保育士の確保は大丈夫か

教育次長

答 共働き世帯が多くなり、生後6ヶ月から入園受付をしており、増加傾向にある。

9月以降1人不足の予定、ハローワークにて募集する。

質問1

山間地の農・林業者への補助は —産業環境課長— 側面からの支援の必要性は認識する

きの した しげ き
木下 茂樹



問 山間地の農林業者へ支援の必要性は

答 ①大変な労力を必要とするため、支援の必要性はある。

②農業者支援は、中山間地では労力が過大であり、採算が合わないため、支援策を検討する必要性がある。

林業者支援は、『多賀町森林多目的機能維持交付金』にて側面支援がある。

森林境界明確化を推進し、集約化を推進している。施業の担い手の高性能林業機械導入は、国・県の補助制度等の活用で支援を推進する。

総務課長

③災害警戒本部が設置された段階で避難情報の早期伝達と避難体制を整えたい。

※「浚渫」とは、水底をさらって土砂などを取り去ること。

問 風・水害の予防対策は万全か

答 ①定期的な浚渫が必要な地域の県への要望・要請は

②河川から道路へ冠水があったが対策は

③複数の避難道がない地域への避難誘導対策は

地域整備課長

答 ①芹川の栗栖・久徳・犬上川の佐目・川相は、定期的な浚渫の必要性があり、要望を行っている。

②道路側溝の閉塞は木々や土砂が原因で、ハードとソフト的対策をして安心・安全を確保する。

質問1

新中央公民館『多賀 結いの森』の利用計画は —生涯学習課長— 多くの方々が様々な目的で利用できるホール

たけ うち かおる
竹内 薫



問 ①具体的な利用計画・運営計画は

②完成式披露は

生涯学習課長

答 ①中央公民館運営準備部会、多賀語ろう会などで検討を進めている。

児童室・託児コーナーで、子育ての方も利用しやすい施設となっている。

調理室、土間ホール・待合スペース（ホワイエ）などの空間もある。障がい者の仕事や活動を支援する「杉の子第二作業所」の設置、園児・児童・生徒の活動発表や老人会・福祉会等の団体も利用できる幅広い情報発信の場として検討している。

福祉保健課長

答 ①保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員が担当し、介護支援の計画を作成する事となる。

②30年度から全市町村で設置となり、愛知・犬上4町で豊郷病院に委託しているオレンジファイブに1人を共同設置している。

本町ではさらに、地域包括支援センターに非常勤職員を配置している。

問 ③3月17日に竣工式、23日にオープニングイベントを計画している。

質問2

問 介護予防の取り組みは

答 ①介護予防プランの作成は

②認知症地域支援推進員の配置とは

問 ①介護予防プランの作成は

②認知症地域支援推進員の配置とは

まち・ひと・しごと!!

第6回

土田宮農農事組合法人



組合長 土田卯之輔さん

成りたち

土田宮農農事組合法人は、平成25年2月に前身の土田宮農組合から、法人として立ち上がりまし

た。現在は組合員数29人、役員8人体制で、組合を運営しています。

オペレーターは、40歳代から70歳台までの13人で行っています。

高齢化は進んでいます。が、若い人にも積極的に作業に従事してもらい、今後も集落農業の一端を担っていただけるよう、継承に心がけています。



育苗ハウス

取り組み

水稲はすべて「環境こだわり認証」を取得し、安心・安全を前面に、消

運営総面積は19haで、水稲10ha、麦8.5ha、そば(二毛作)9ha、野菜等0.5haで、ハウスによる育苗も手がけた面積が、30年度計画となります。

消費者動向を見据えて生産計画を心がけています。特に県の推奨品種『みずかがみ』を4haに増反して、耕作技術と食味の向上を図り、町内の米生産農家の皆さんと共に、多賀町産のブランド化を目指しています。



環境こだわり米

これから

本年からは、新たに「色彩選別機」を導入し、より一層外見上の品質向上と土づくりから、おいしさを追究した、付加価値を高めたお米の販売を目指しています。

安心・安全・美味しい「多賀町産米」ブランド化のため、町内皆さんと情報交換し多賀町の将来の農業のため、引き続き努力していきます。



乾燥機

議会を傍聴してみませんか？

9月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
9月5日	5日(水) 9:30~ 議案審議
9月27日 (23日間)	6日(木) 9:30~ 一般質問 27日(木) 13:30~ 議案審議

※日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126 (有線) 2-2011

原稿募集!!

あなたのまわりの自慢をお聞かせください。
【応募資格】
多賀町に在住 在勤の方。
【応募方法】2000字程度
【募集期間】
平成30年10月4日(木)

◎議会事務局までご連絡ください。



編集後記

先日、中学校の体育大会を見学しました。生徒全員が「一生懸命」に取り組む姿勢に感動しました。同時に自身忘れかけていたものを教えられた気がしました。広報誌が皆様にとって身近に感じていただけるよう取り組みます。「一生懸命」に。

森 令三 記

お詫びと訂正

議会だより157号(2018年5月発行)3ページの上段見出しの「一般会計49億6300万円」は、「一般会計48億6300万円」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎0749(48)8126 FAX 0749(48)8131
有線 2-2011

ホームページ <http://www.town.taga.lg.jp/>